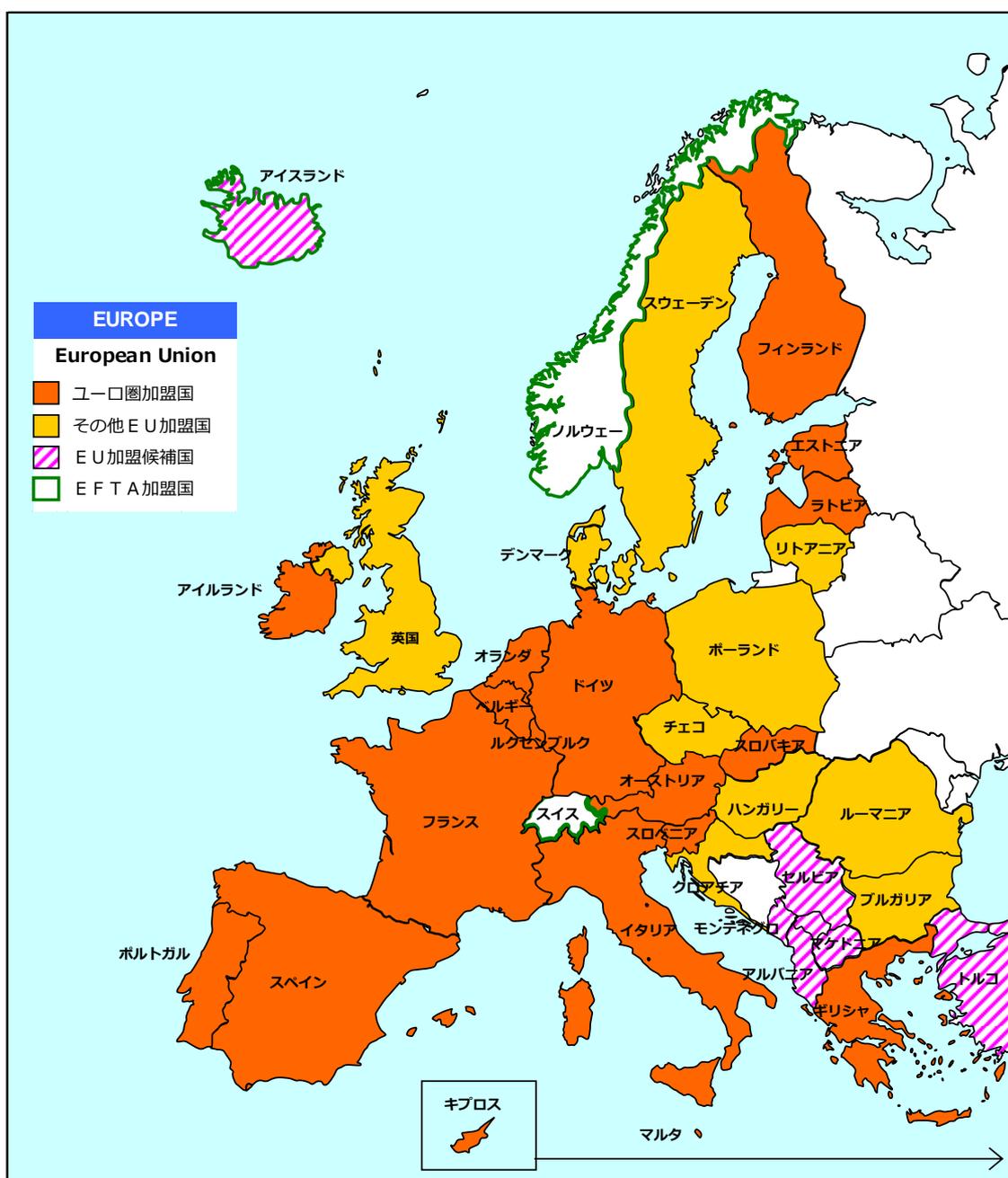


2014年10月23日 全13頁

欧州経済アップデート (2014.10)

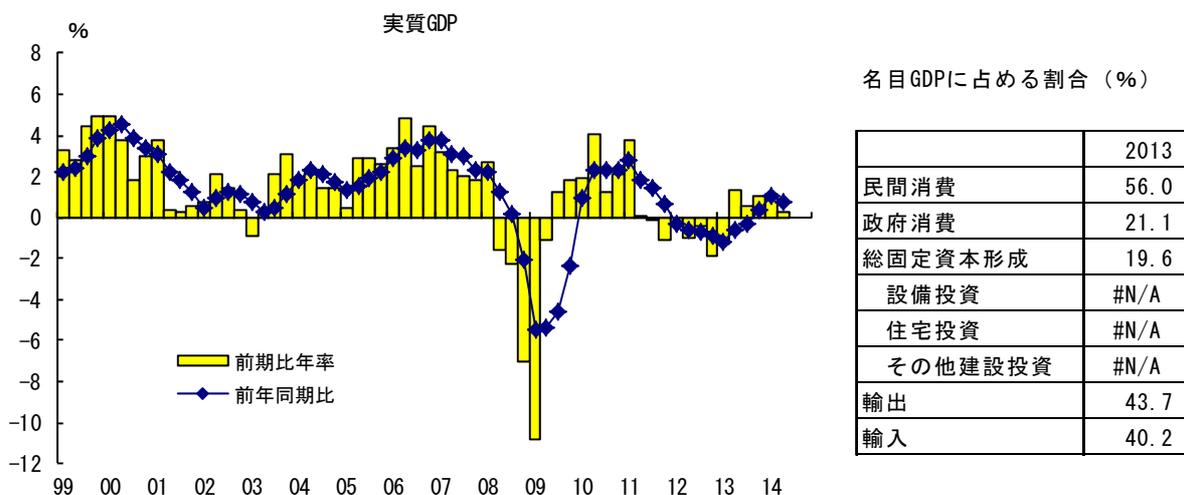
経済調査部
シニアエコノミスト 山崎 加津子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- Eurostat は 14 年 10 月 17 日に、国民経済計算体系を ESA95 から ESA2010 に切り替えた GDP 統計を発表した。基準年が 2010 年に代わったほか、研究開発投資が固定資本形成に算入されるなど統計手法の変更があり、ユーロ圏の GDP 規模は 2010 年データで 3.5% 拡大した
- ただし、ESA2010 への切り替えが GDP 成長率に対して及ぼした影響は軽微で、14 年 Q1 の成長率は前期比 +0.3%、Q2 は同横ばいで変わらず
- 総固定資本形成の内訳のデータは 10 月 22 日現在、新基準で発表されていない



ユーロ圏の需要項目別 GDP 成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質 GDP	0.9	0.0	0.0	-0.3	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.0
個人消費	0.2	-0.5	0.2	-0.7	-0.2	-0.5	0.0	-0.5	-0.3	0.1	0.3	-0.1	0.2	0.3
政府消費	-0.1	-0.1	-0.2	0.3	-0.2	0.1	-0.3	0.0	0.3	0.0	0.2	-0.2	0.7	0.2
総固定資本形成	1.8	-0.5	-0.5	-0.5	-0.9	-1.5	-0.6	-0.7	-2.0	0.5	0.5	0.6	0.3	-0.9
設備投資	#N/A													
住宅投資	#N/A													
その他建設投資	#N/A													
輸出	1.5	0.9	1.0	0.0	0.9	0.8	1.1	-0.7	-0.1	1.9	0.6	1.1	0.3	1.3
輸入	1.5	0.0	0.2	-1.2	0.3	-0.4	0.2	-0.7	-0.1	1.5	1.4	0.4	0.6	1.3

ユーロ圏の需要項目別 GDP 寄与度（前期比：%）

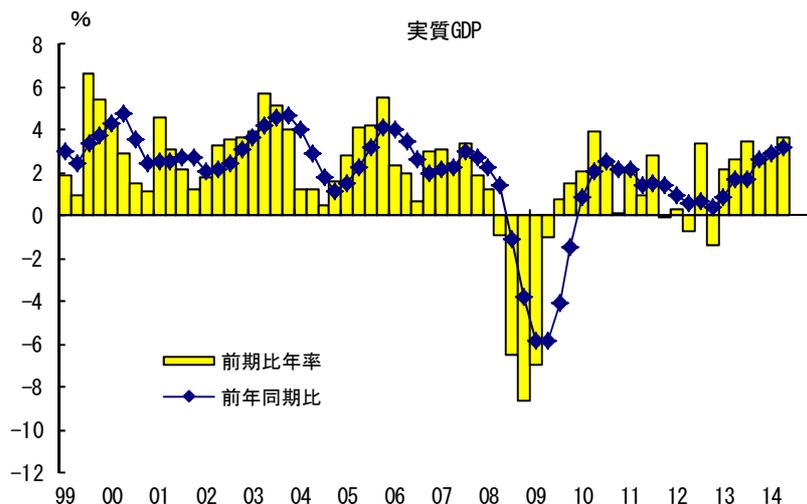
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質 GDP	0.92	0.02	0.00	-0.28	-0.11	-0.25	-0.10	-0.47	-0.34	0.32	0.15	0.25	0.29	0.08
個人消費	0.11	-0.30	0.10	-0.39	-0.14	-0.29	-0.02	-0.30	-0.15	0.07	0.14	-0.03	0.10	0.15
政府消費	-0.02	-0.02	-0.05	0.07	-0.04	0.02	-0.06	-0.01	0.06	0.01	0.04	-0.04	0.14	0.05
総固定資本形成	0.38	-0.10	-0.11	-0.11	-0.18	-0.30	-0.12	-0.14	-0.39	0.11	0.10	0.13	0.05	-0.19
設備投資	#N/A													
住宅投資	#N/A													
その他建設投資	#N/A													
在庫変動	0.41	0.07	-0.27	-0.32	-0.02	-0.19	-0.31	0.01	0.15	-0.08	0.17	-0.13	0.13	0.02
輸出	0.61	0.37	0.40	0.01	0.36	0.34	0.45	-0.31	-0.03	0.80	0.26	0.46	0.11	0.56
輸入	-0.56	0.00	-0.08	0.46	-0.11	0.16	-0.06	0.28	0.03	-0.57	-0.54	-0.15	-0.24	-0.50
純輸出	0.06	0.37	0.32	0.47	0.25	0.50	0.40	-0.03	0.00	0.23	-0.29	0.32	-0.13	0.06

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU 加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14 年 1 月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は 18 か国。このレポートに掲載されているデータは、14 年 1 月以前も 18 か国ベース（Eurostat が 18 か国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 英国の GDP 統計も国民経済計算体系が ESA95 から ESA2010 に切り替わった
- 14 年 Q2 の成長率は前期比+0.9%と第 2 次推計の同+0.8%から小幅上方修正された。牽引役は引き続き個人消費と民間投資だが、在庫変動も 3 四半期ぶりにプラス寄与となった
- 14 年 Q2 の純輸出寄与度は 3 四半期ぶりにマイナス寄与。輸出が伸びない中で、輸入の減少ペースが鈍化したことが要因である



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	64.8
政府消費	20.2
総固定資本形成	16.4
政府部門	2.3
企業部門	10.0
民間住宅投資	2.9
輸出	29.8
輸入	31.7

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.5	0.2	0.7	0.0	0.1	-0.2	0.8	-0.3	0.5	0.7	0.9	0.6	0.7	0.9
個人消費	-0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.5	0.6	0.3	0.5	0.3	0.7	0.6
政府消費	-0.2	-0.1	-0.3	0.8	3.5	-2.6	0.6	0.1	-0.2	1.3	0.6	-0.1	-0.3	1.0
総固定資本形成	-1.7	-1.8	3.6	1.2	-0.1	-1.6	-0.9	1.1	0.8	0.5	2.8	2.4	2.4	1.3
政府部門	0.6	-12.6	4.1	-4.6	7.9	-2.0	-12.9	1.7	-0.2	-1.9	0.1	1.7	6.5	-14.5
企業部門	0.5	1.9	2.5	1.5	0.2	-0.8	3.1	0.9	0.7	-0.7	3.7	2.7	0.9	3.3
民間住宅投資	-1.0	2.6	0.8	1.2	-2.6	-4.5	-1.2	0.2	0.7	5.8	1.7	0.9	5.9	3.6
輸出	2.1	-0.2	-0.7	1.5	-0.1	-0.8	2.0	-1.6	-1.0	5.9	-4.6	0.2	-0.4	-0.4
輸入	-1.9	-1.2	0.9	1.5	1.1	0.2	1.6	-0.8	-2.7	3.5	1.5	-1.4	-2.0	-0.3

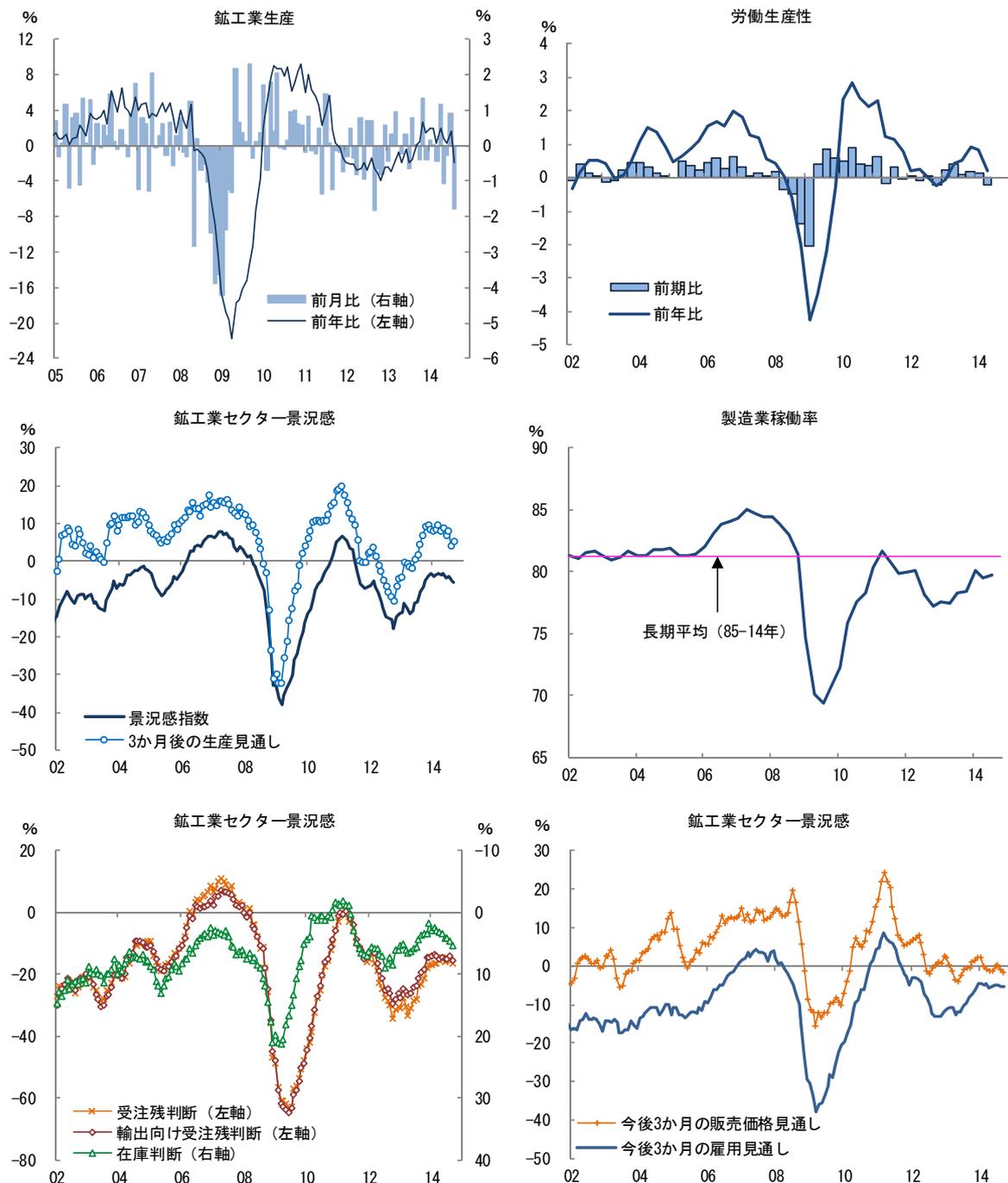
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2
実質GDP	0.54	0.23	0.70	-0.01	0.07	-0.18	0.83	-0.34	0.53	0.66	0.85	0.62	0.74	0.91
個人消費	-0.23	0.11	0.13	0.20	0.20	0.21	0.09	0.29	0.37	0.21	0.31	0.17	0.43	0.39
政府消費	-0.03	-0.02	-0.07	0.17	0.74	-0.55	0.13	0.03	-0.05	0.27	0.12	-0.02	-0.06	0.20
総固定資本形成	-0.29	-0.29	0.57	0.19	-0.01	-0.26	-0.15	0.17	0.13	0.08	0.45	0.39	0.39	0.21
政府部門	0.02	-0.37	0.10	-0.12	0.20	-0.06	-0.35	0.04	-0.01	-0.04	0.00	0.04	0.15	-0.35
企業部門	0.05	0.17	0.24	0.14	0.01	-0.08	0.30	0.09	0.07	-0.07	0.37	0.27	0.09	0.34
民間住宅投資	-0.03	0.08	0.03	0.04	-0.08	-0.14	-0.04	0.01	0.02	0.17	0.05	0.03	0.18	0.12
在庫変動	0.21	-0.10	0.55	-0.46	-0.50	0.72	0.67	-0.58	-0.35	-0.50	2.01	-0.43	-0.59	0.18
輸出	0.64	-0.07	-0.21	0.46	-0.02	-0.24	0.62	-0.51	-0.32	1.78	-1.47	0.06	-0.11	-0.13
輸入	0.63	0.38	-0.27	-0.49	-0.35	-0.07	-0.53	0.26	0.89	-1.12	-0.51	0.47	0.66	0.09
純輸出	1.27	0.32	-0.49	-0.03	-0.37	-0.30	0.09	-0.25	0.57	0.66	-1.98	0.53	0.55	-0.04

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 8月の鉱工業生産は前月比-1.8%と急減。8月に工場の夏休みが集中した自動車生産が前月比-23.9%と落ち込んだ影響が大きい。7-8月平均でも4-6月平均比-0.5%と軟調
- 9月の鉱工業セクター景況感は2か月連続で悪化。在庫判断の悪化が目立つ
- 9月の鉱工業セクターの販売価格見通しは15か月ぶりの低水準

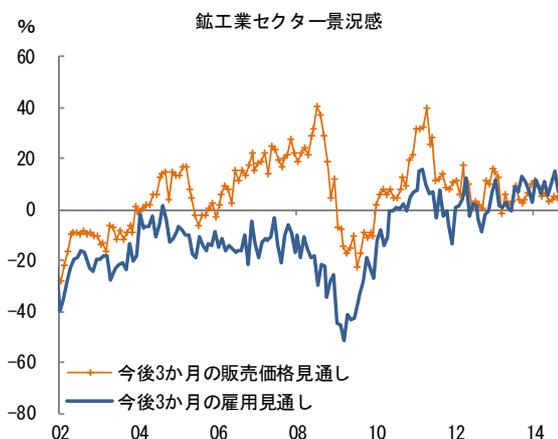
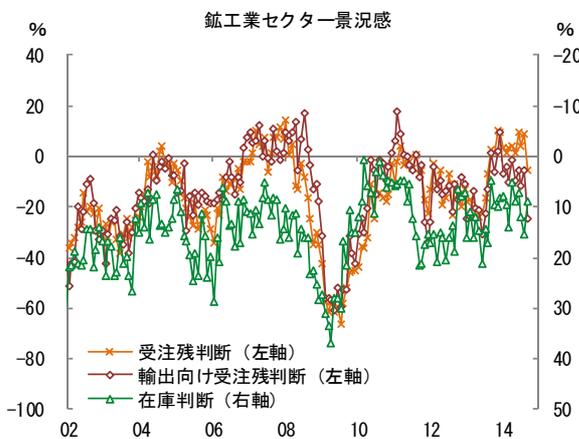
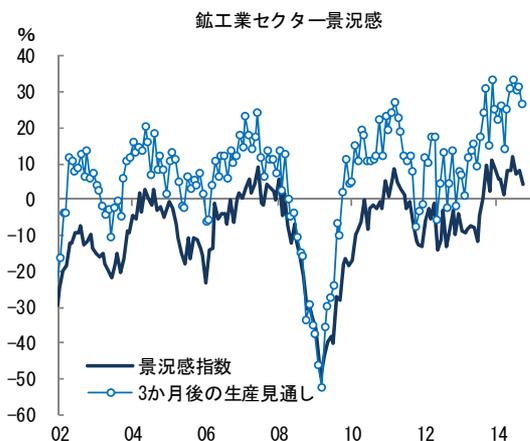
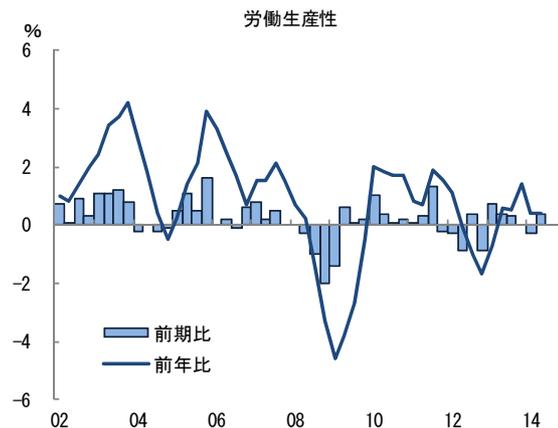
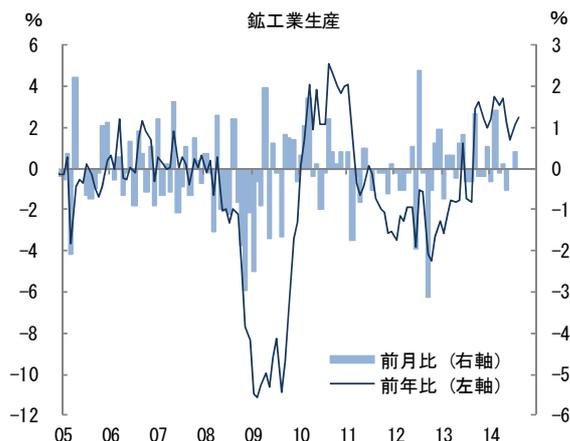


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 8月の鉱工業生産は前月比横ばい、前年比+2.5%。8月の自動車生産は前月比-5.9%と落ち込んだが、中間財や消費財の生産の伸びがこれを相殺した
- 9月の鉱工業セクター景況感は前月比悪化。構成項目のうち、受注残判断が8月の+8.9%から9月は-5.7%に大幅に悪化した
- 販売価格見通しは、2014年1月をピークとした悪化傾向が続いている

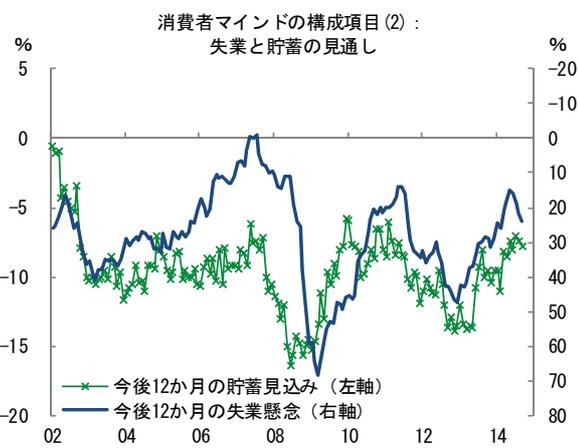
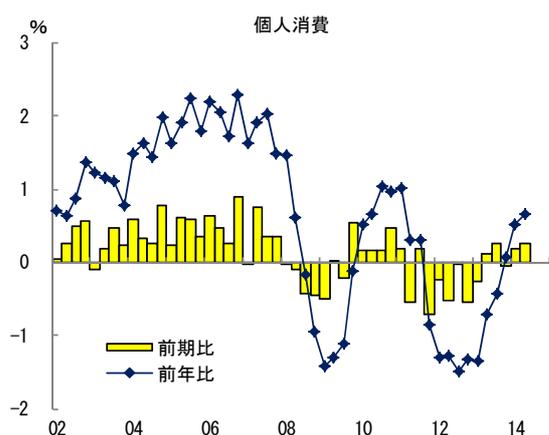


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 8月の小売売上高は前年比+1.8%と再加速。食品は同横ばいにとどまったが、食品を除く小売売上高が同+2.9%と2007年7月以来の高い伸びとなった
- 新車登録台数も8月の前年比+0.2%から9月は同+6.4%へ再び加速した
- 9月の消費者マインドは4か月連続の悪化。景気と失業に対する懸念の高まりが目立つ

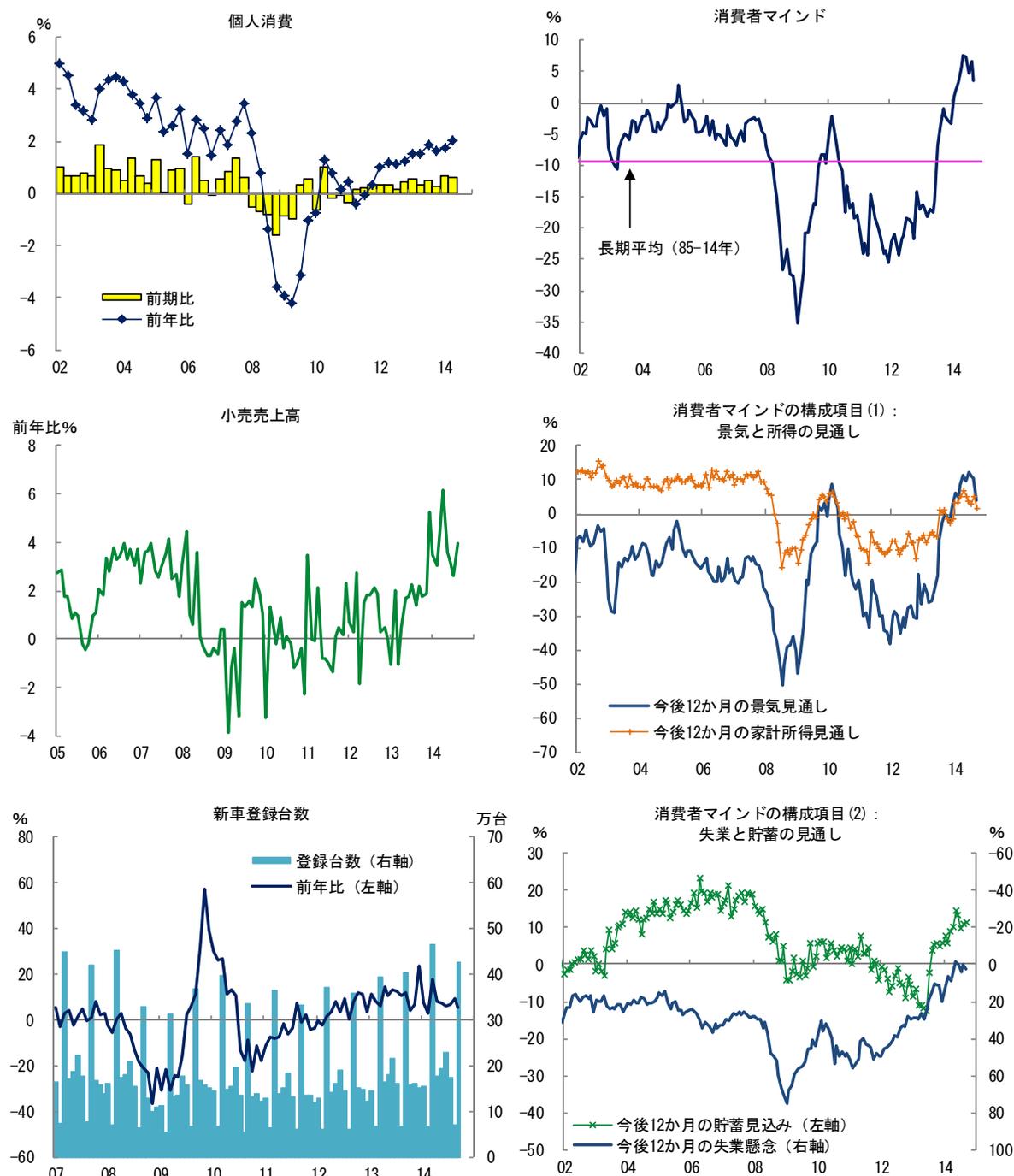


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 14年Q2の個人消費は前期比+0.6%と堅調を維持
- 9月の新車登録台数は42.6万台で前年比+5.6%。英国ではナンバープレートの書き換え時期である3月と9月の新車登録が多いのだが、9月としては2004年以来の高水準
- 9月の消費者マインドは6か月ぶりの水準に低下したが、長期平均は大幅に上回っている

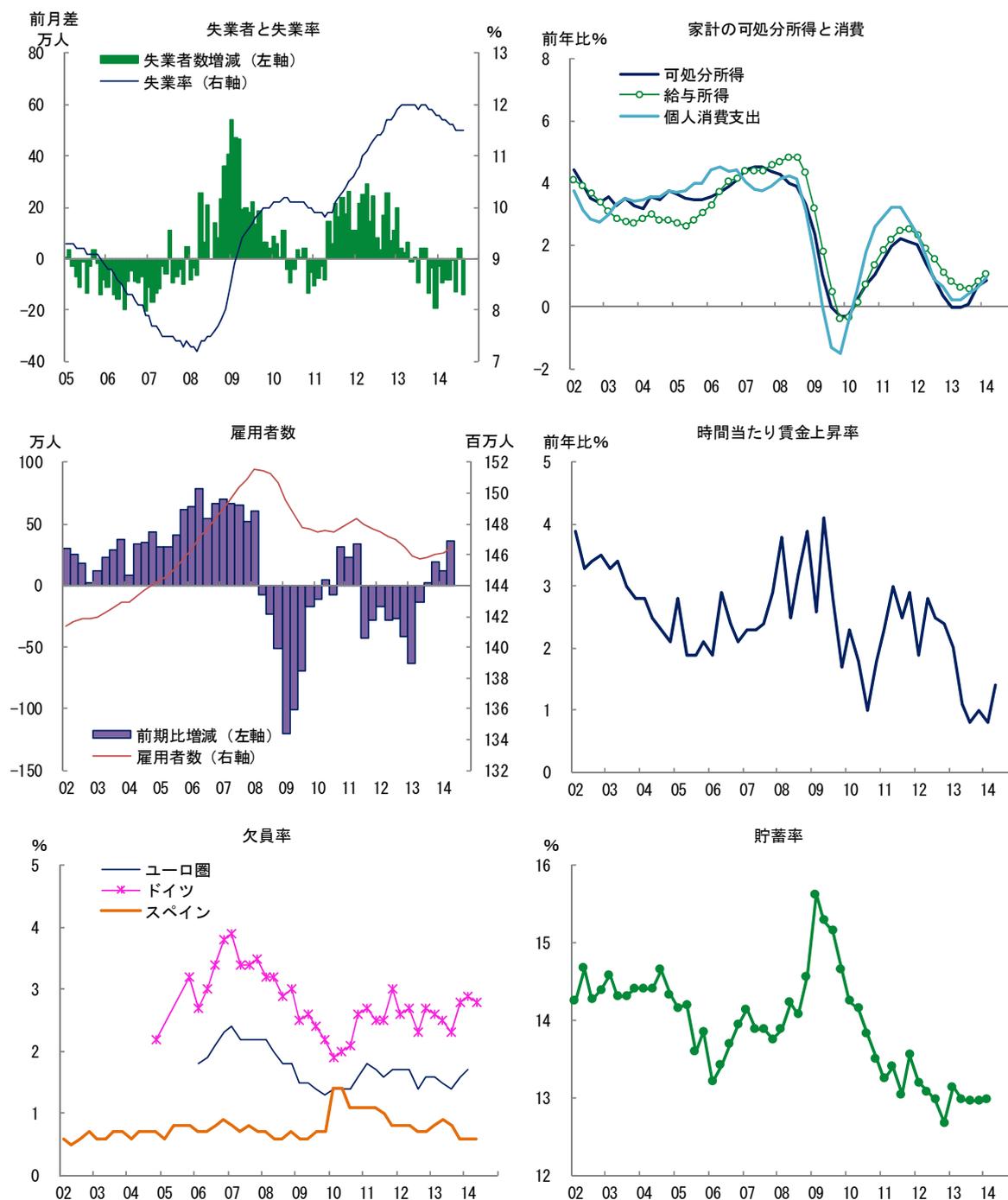


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 8月の失業率は3か月連続となる11.5%
- ただ、8月の失業者数は前月比-13.7万人と再び減少に転じた
- 14年Q2の雇用者数は前期比36万人増の1億4,648万人。4か月連続の増加で、雇用者数は12年Q4の水準をほぼ回復した

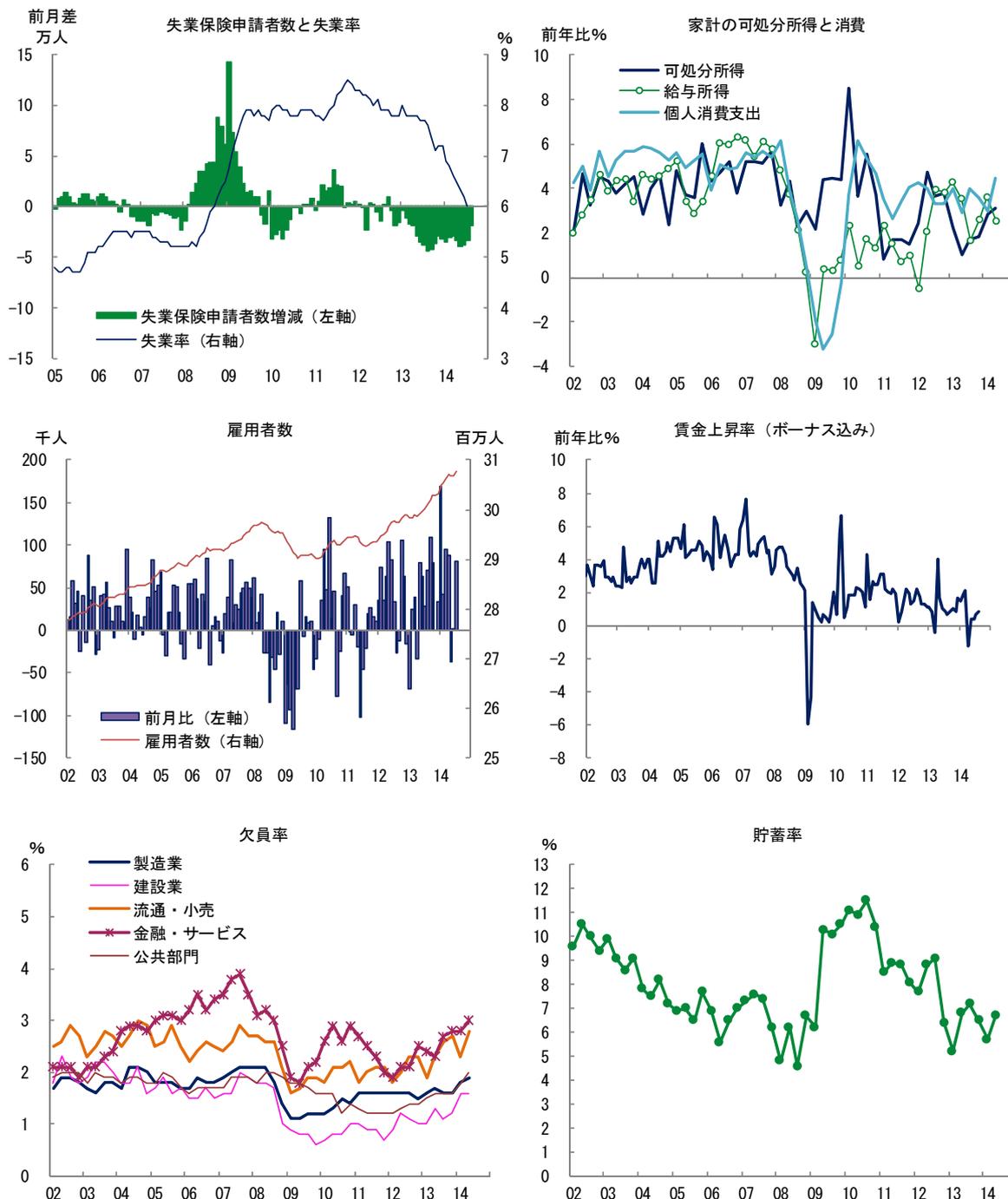


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 6-8月の失業率は6.0%に低下。失業保険申請者数は9月も減少しており、リーマン・ショック前の5%台の失業率回復が視野に入ってきた
- 6-8月の賃金上昇率は前年比+0.8%とやや加速したものの、依然として低い伸び
- GDP統計のESA2010基準への移行に伴い、可処分所得や貯蓄率も改定された。貯蓄率は2010年Q3の11.5%をピークとして低下傾向にあったが、ここ1年は6%前後で推移

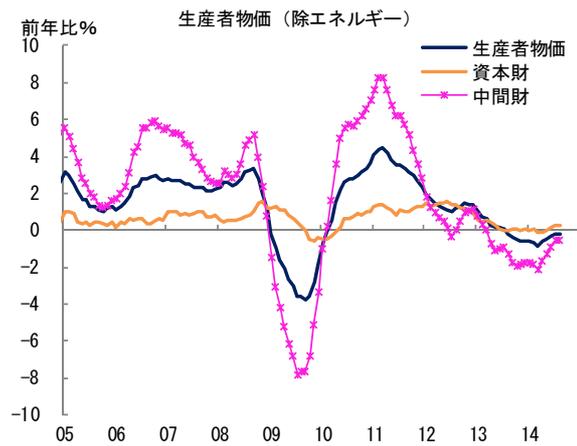


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

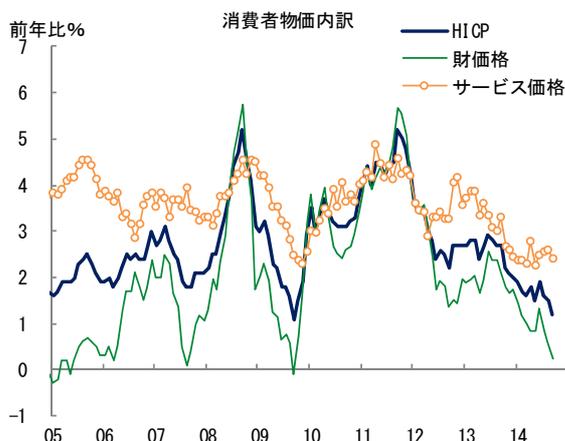
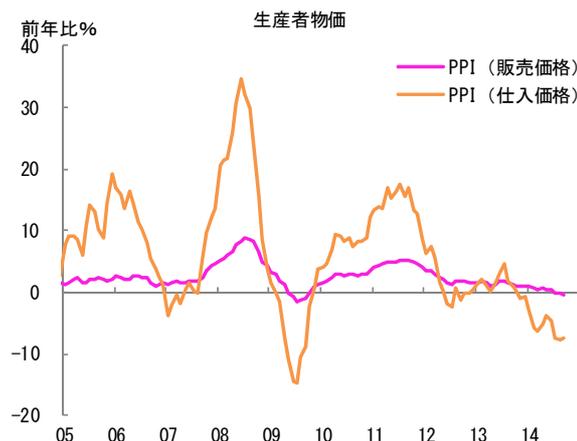
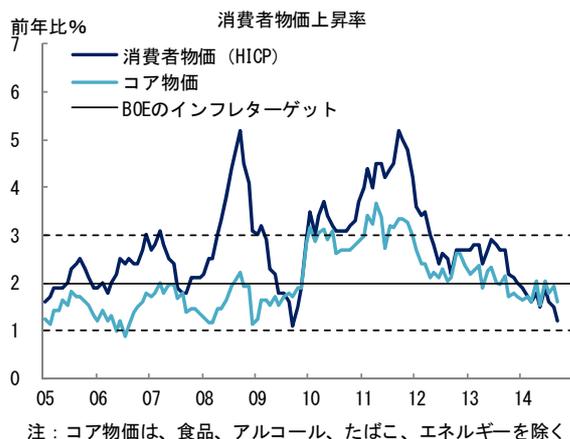
- 9月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.3%に低下。エネルギー価格が同-2.3%と下落幅が拡大したことに加え、コア物価も同+0.8%に低下した
- 8月の生産者物価は前年比-0.2%と13か月連続で前年割れ
- 9月の原油価格（北海ブレント）は大幅下落。ユーロの名目実効為替レートは9月まで6か月連続で前月比下落している



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

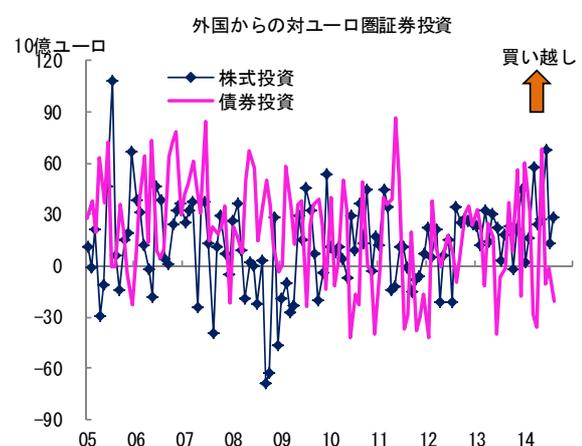
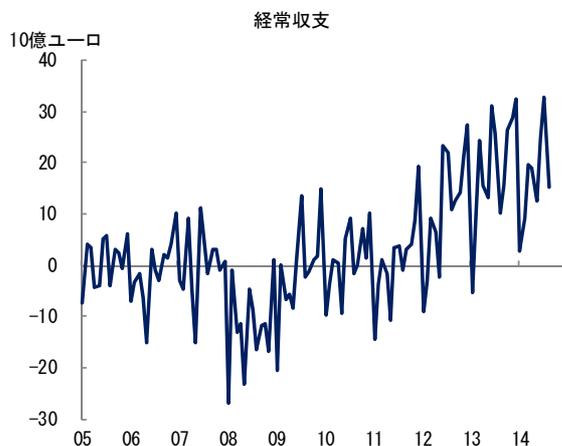
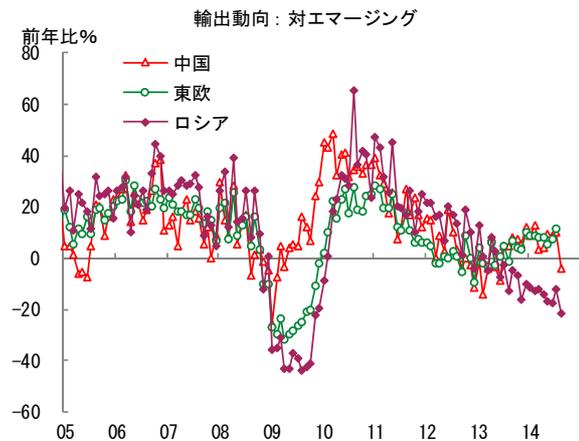
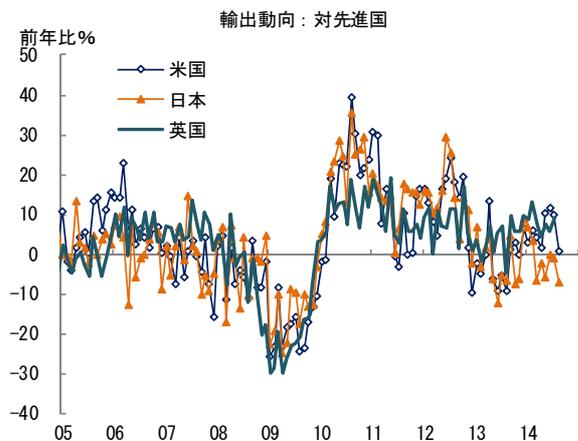
- 9月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.2%と3か月連続の伸び鈍化。ここ3か月は財価格の低下が目立つ
- 9月の生産者物価上昇率は、仕入価格は前年比-7.4%と大幅な落ち込みが続き、販売価格も前年比-0.4%と3か月連続で前年割れ
- ポンドの名目実効為替レートは8月、9月と連続して前月比で下落



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

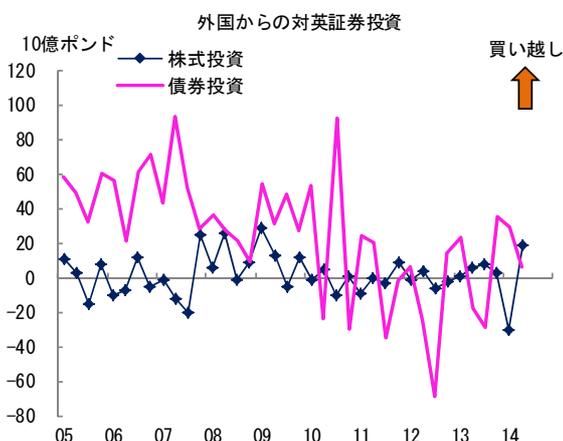
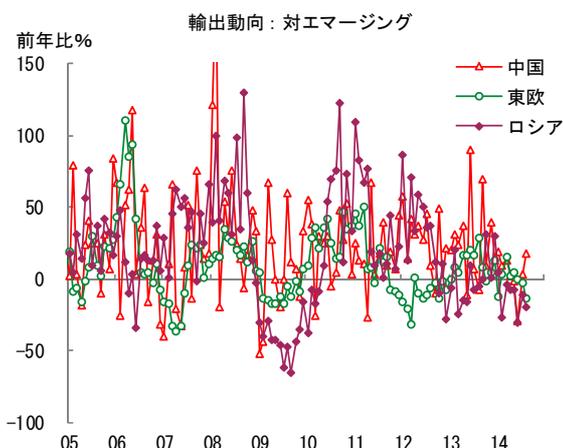
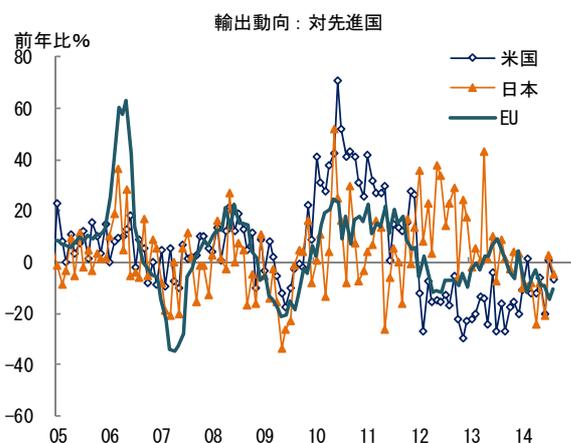
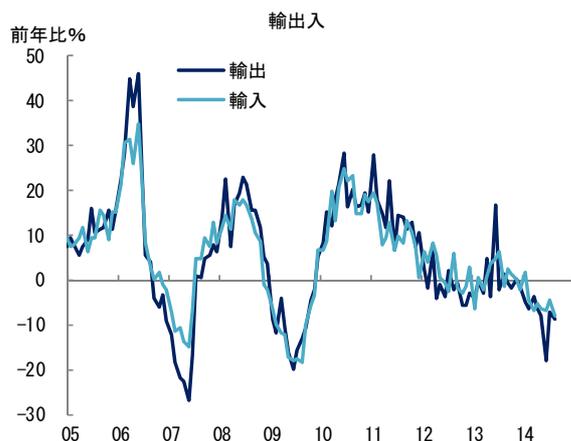
- 8月の輸出は前年比-2.9%、輸入は同-4.4%とそろって前年割れに転じた
- 国別輸出動向をみると、ロシア、日本向けは引き続き不振で、加えてこれまで輸出拡大を牽引してきた米国及び中国向けも大きく落ち込んだ
- 外国からのユーロ圏証券投資は、株式投資は買い越しが継続する一方、債券投資は8月までの3か月連続で売り越し



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 8月の輸出は前年比-8.8%で、9か月連続となる前年割れ。中国向けの輸出は辛うじて拡大しているが、EU、米国向けは不振である
- 9月の輸出向け受注残判断は急速に悪化し、14か月ぶりの低水準となった
- 14年Q2の経常収支は再び赤字が拡大した一方、外国からの株式投資、債券投資はそろって買い越しとなった



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成